

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	老年看護	単位数	2単位 (1、2学期)	学年・学科・コース	3年・衛生看護科
使用教科書	看護学入門11 老年看護 (メヂカルフレンド社)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、老年看護の実践に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老年看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・老年看護に関する多様な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・老年看護について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、高齢者の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
高齢者の多様性を統計資料等から理解するとともに、健康寿命を延伸し、地域で自立した生活を支える制度や援助及び健康状況に応じた看護に関する知識と技術を身に付けている。	加齢とともに健康課題が増加する高齢者の具体例を取り上げ、看護の職業倫理を踏まえ、高齢者の安全・安楽や権利擁護、人間としての尊厳、自立の視点から援助を考察するとともに、介護を行う家族を含めて実施する援助とその根拠を明確にして課題を解決する力を身に付けている。	高齢者の健康課題の解決に当たっては、高齢者の健康寿命の延伸、意思決定の支援、権利の擁護とともに疾患にかかわらず自立した生活の維持を重視し、主体的かつ協働的に看護の実践に取り組む態度を身に付けている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容 (ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	高齢者の特徴と看護	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活と健康 ・高齢者の保健と福祉 ・老年看護の特徴 ・老年看護の倫理的課題 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の特徴と看護について理解できる。 ・高齢者の特徴に関わる多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだすことができる。 ・高齢者の特徴と看護について自ら学び、高齢者の健康の保持増進を目指して、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	定期考査 授業態度 発問評価 小テスト 提出物
5 6	高齢者の生活を支える看護	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のアセスメント ・コミュニケーション ・食事と栄養 ・排泄 ・清潔 ・歩行・移動 ・睡眠 ・活動と生きがい 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活を支える看護について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 ・高齢者の生活に関わる多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだすことができる。 ・高齢者の生活を支える看護について自ら学び、その生活の質の改善に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	
7 8	診療を受ける高齢者の看護	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期 ・慢性期 ・終末期 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・診療を受ける高齢者の看護について、各病期の特徴を理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 ・診療を受ける高齢者の各病期の看護について多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだすことができる。 ・診療を受ける高齢者の各病期の看護について自ら学び、高齢者の健康の保持増進または看取りの支援について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	
9 10 11 12	高齢者に多い健康障害と看護	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症 ・骨折 ・パーキンソン症候群 ・認知症 ・うつ ・せん妄 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に多い健康障害と看護について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 ・高齢者に多い健康障害と看護について多様な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて解決策を見いだすことができる。 ・高齢者に多い健康障害と看護について自ら学び、高齢者の健康の保持増進を目指し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	定期考査 授業態度 発問評価 小テスト 提出物